

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
露地野菜專業經營 II	人 3	a		1. 春はくさい、春にんじん、春だいこんはトンネル栽培 2. にんじんの収穫は一部委託作業	
		春はくさい	50		
		冬にんじん	200		
		春にんじん	100		
		秋冬だいこん	50		
		春だいこん	100		
		計	500		
		経営耕地面積	水田 150 畑 (借地) 200 (100)		
経営目標	1 農業総収入	32,793 千円	4 1日当たり農業所得	7,403 円	
	2 農業経営費	27,764 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,812 時間	
	3 農業所得	5,029 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格 千円	耐用年数	年間償却額 千円
建物・施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	農具舎	1	軽量鉄骨 30㎡	1	2,835	24	118
	ビニールハウス(育苗用)	1	AP単棟ハウス:100㎡(本体のみ)	1	4,967	10	248
	計				13,473		603
農機具	トラクター	1	30PS、140cm幅ロータリー装着	1	2,128	7	152
	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	184	7	13
	トラック	1	1.5tトラック	1	3,544	5	354
	運搬車	1	リフトダンプ(600kg・6.2PS)	1	535	7	38
	堆肥散布機	1	1100kg・乗トラけん引	1	779	7	56
	土壌消毒機	1	ティラーけん引・2条	1	87	7	6
	畦立マルチシーダー	1	乗用トラクター用	1	1,028	7	73
	播種機(にんじん)	1	歩行2条(コート種子、電動アシスト)	1	209	7	15
	収穫機(にんじん)	1	ソリ式	1	439	7	31
	計				9,210		759

3. 技術体系(春はくさい)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)は種		12月上～12月中		2	6	12	コート種子 5,000粒 セルトレイ 128穴 39個	1穴に1粒ずつは種 地温20～25℃確保
育苗管理	温度管理 かん水 病害虫防除	12月中～1月中	動力噴霧機	2	6	12		育苗中平均温度15～20℃で管理する。 13℃以下では花芽分化しやすい。 最低気温6℃以下には絶対しない。 病害虫防除は県病害虫防除基準による。
(本ぼ)耕うん 整地	耕起 整地	12月中	トラクター	1	4	4	堆肥 2,000kg 石灰質資材 100kg	
施肥		12月下～1月中	トラクター	2	2	4	N 25kg P2O5 35kg K2O 25kg	水田はネコブ病予防のため、土壌施肥剤を施用する。
マルチ被覆	ポリマルチ被覆	12月下～1月中	畦立マルチシーダー	2	4	8	ポリマルチ	地温を高めるため早めにマルチ及びトンネルを被覆する。
トンネル被覆		12月下～1月中		3	8	24	トンネルビニール トンネル支柱	
定植		1月中～1月下	トラック	3	4	12		栽植密度 うね幅 160cm 3条×40cm(条間40cm) 10a当り 4,700株 育苗日数35日程度、本葉8枚の苗を定植する。 活着を促すため、必ず定植時のかん水をする。
トンネル換気		2月上～3月中		1	34	34		本葉10枚頃までは密閉気味にし、その後徐々に換気する。(25℃以上で換気) 長期の密閉は軟弱徒長するので注意する。
トンネル除去		3月中～3月下		2	2	4		芯葉抱合時にトンネル除去
病害虫防除	薬剤散布	1月中～4月下	動力噴霧機 トラック	2	6	12		使用薬剤及び使用方法は、県病害虫防除基準による。
収穫出荷		4月上～4月下	運搬車 トラック	3	10	30	ダンボール 633個	収穫適期が短いので注意する。
後かたづけ		1月中～3月下	トラック	2	5	10		ほ場に残渣物が残らないように注意する。
計						166		

3. 技術体系(冬にんじん) p90 を参照

3. 技術体系(春にんじん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕耘 整地	10月	トラクター 堆肥散布機	2	2	4	堆肥 2,000kg	有機物は前作に多用しておく。施用する場合は完熟堆肥を用いる。発芽揃いを良くし、岐根を少なくするよう丁寧に耕耘砕土を行う。
土壌消毒	センチュウ 防除 ガス抜き	10月	土壌消毒機 トラクター	2	2	4	土壌消毒剤	は種10日前にはガス抜きを終える。
施肥	全量基肥	11月	トラクター	2	2	4	石灰質資材 120kg 10a当たり成分 N 16kg P ₂ O ₅ 22kg K ₂ O 16kg	
は種		11月	畦立マルチ シーダー	2	4	8	コート種子 10~12万粒 (シーダーテーブの場合、3000~4000m)	うね幅160cm、8条(2条播き×4)、株間4~5cm
除草	除草剤散布	11月	動力噴霧機	2	1	2	除草剤	県雑草防除基準による適正使用。
間引き		11月下~ 1月上		4	6	24		間引きは2回程度行い、5~6葉期までに1本仕立て(株間10cm程度)にする。 株立ち数3.5~4万株
トンネル被覆		11月下~ 12月上		3	8	24	トンネルビニール トンネル支柱	
温度管理	換気、ならし	2月下~ 3月下		1	10	10		トンネル内の温度が30℃以上にならないよう換気する。 トンネル除去7~10日前から強い換気をして外気にならす。
トンネル除去		3月下~ 4月上		2	4	8		
病虫害防除	薬剤散布	3月~5月	動力噴霧機 トラック	2	5	10	殺菌剤・殺虫剤 防除タンク	県病虫害防除基準による適正防除。
収穫・出荷		4月中~ 5月中	収穫機 運搬車 トラック	3	8	24	包丁 コンテナ	M級中心の適期収穫に努める。 委託掘り取りの利用(全体の半分) 選果施設へ出荷する。
後かたづけ		4月中~ 5月中	トラック	2	3	6		
計						128		
							委託掘り取り 利用 (116)	

3. 技術体系(秋冬だいこん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕起整地	8月上～8月下	トラクター	1	4	4	石灰質資材 140kg	堆肥は前作に施用。 酸度矯正を行う。 耕土が浅いと岐根、変形の原因となるので深耕し、十分砕土を行う。
施肥	基肥施用	8月下～9月上	トラクター	2	2	4	10a当たり成分 N 10kg P ₂ O ₅ 15kg K ₂ O 10kg	
うね立ては種		9月上～下	播種機	2	6	12	コート種子 2.5万粒 (シーダーテープの場合、 1600m)	うね幅180cm×株間25～28cm(4条) 10a当り 8,000～8,900株
かん水	かん水施設設置		スプリンクラー	2	8	16		
除草	除草剤散布	9月上～中	動力噴霧機	1	1	1	除草剤	県雑草防除基準による適正使用。
間引き		9月下～10月中		2	5	10	ハサミ	第1回:本葉2～3枚時に生育不良株・病害虫被害株を除く。 第2回:本葉6～7枚で1本に定める。
追肥土寄せ		9月下～10月中	管理機	1	2	2		間引き終了後
病害虫防除	薬剤散布	9月中～11月下	動力噴霧機 トラック	2	4	8	殺菌剤・殺虫剤 防除タンク	県病害虫防除基準による適正防除。
収穫出荷		11月中～1月下	運搬車 トラック	2	16	32		共同選果施設の利用。
後かたづけ		11月下～1月下	トラック	2	3	6		
計						95		

3. 技術体系(春だいこん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕起整地	12月中～12月下	トラクター	1	4	4	石灰質資材 140kg	堆肥は前作に施用。 酸度矯正を行う。 耕土が浅いと岐根、変形の原因となるので深耕し、十分砕土を行う。
施肥	基肥施用	12月下～1月下	トラクター	2	2	4	10a当たり成分 N 10kg P ₂ O ₅ 15kg K ₂ O 10kg	Nは緩効性肥料を主体に施用する。
除草	除草剤散布	12月下～2月上	動力噴霧機	1	2	2		県雑草防除基準による適正使用。
マルチ被覆	ポリマルチ被覆	12月下～1月下	畦立てマルチシーダー	2	4	8	有孔ポリマルチ 500m	マルチ被覆は土壤水分のある時に行う。 うね幅180cm×株間25cm(4条)10a当り 9,000株 1穴に2粒まく。
播種		1月上～1月下	畦立マルチシーダー管理機	2	6	12	コート種子 2万粒	
トンネル被覆		1月上～1月下		3	8	24	トンネルビニール 0.05mm×2.7m ×500m 支柱 500本	
保温管理		1月下～3月下		1	13	13		は種から本葉2枚までは、トンネルを密閉する。本葉10枚までは、高温管理し花芽分化を抑制する。(日中最高30～35℃)10枚以降徐々に換気する(20℃前後)
間引き		1月下～2月中		1	4	4	ハサミ	本葉4～5枚の頃、1本仕立てとする。
病害虫防除	薬剤散布	3月～4月	動力噴霧機 トラック	2	6	12	殺虫剤・殺菌剤	県病害虫防除基準による適正防除。
トンネル除去		4月中～		2	3	6		
収穫出荷		4月中～5月下	運搬車 トラック	2	16	32		共同選果施設の利用。
後かたづけ		4月中～6月	トラック	2	3	6		
計						127		

4. 品目の作付体系 (○は種, ◯トネル被覆, △定植, □収穫)

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
春はくさい			△																					○～□	12
冬にんじん																									
春にんじん																								○	12
秋冬だいこん																								○	12
春だいこん																								○～□	12

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

1) 春はくさい

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
は種																									
育苗管理	2	2																							12
ほ場準備・トンネル被覆	12	12																							12
定植	6	6																							40
温度管理・トンネル除去		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	38
病害虫防除		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	12
収穫・出荷																									30
後かたづけ																									10
計	14	20	10	8	8	8	6	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	166
月計	44		22		24		32		10		0		0		0		0		0		0		34		166

2) 冬にんじん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
ほ場準備																									12
は種																									8
かん水																									15
間引き																									24
土寄せ																									3
病害虫・雑草防除																									12
収穫・出荷	6	2	4																						12
後かたづけ	6	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
計	12	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
月計	12		0		0		0		0		0		14		23		26		11		0		6		92

3) 春にんじん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																						
ほ場準備																																														
播種																																														
トンネル被覆																																														
間引き	6																																													
温度管理・トンネル除去				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																					
病害虫・雑草防除																																														
収穫・出荷																																														
後かたづけ																																														
計	6	0	0	2	4	2	4	2	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
月計	6																						8	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		116

4) 秋冬だいこん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																						
耕起・施肥																																														
は種																																														
かん水設置																																														
かん水																																														
間引き・土寄せ																																														
病害虫・雑草防除																																														
収穫・出荷																																														
後かたづけ																																														
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
月計	0																						0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		95

5) 春だいこん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																						
耕起・施肥																																														
は種																																														
トンネル被覆																																														
間引き																																														
温度管理																																														
病害虫・雑草防除																																														
トンネル除去																																														
収穫・出荷																																														
後かたづけ																																														
計	4	16	16	4	2	5	3	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																					
月計	36																						22	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		127

6. 露地野菜専業経営Ⅱ 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計																					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																						
うち家族労働	290	300	290	220	110	80	130	80	200	100	150	130	160	160	160	60	60	0	80	80	120	180	120	195	225	230																				
うち雇用労働	40	20	40	220	110	80	130	80	200	100	150	130	160	160	60	60	0	80	80	120	180	120	195	215	225	230																				
計	330	320	330	440	220	160	260	160	400	200	300	260	320	320	120	120	0	160	160	240	360	300	390	420	460	460																				
月計	360																						220	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		140